



《ウニ君のつばやき》 三粒

「ミッションは何？」

時々考えることがある。私はなぜインドにいるのだろうか？と。もちろん、自ら日本人学校で勤務することを望んだからである。それは承知している。

しかしなぜ、インドなの？となる。誤解しないでいただきたいのだが、決して不満を言っているのではない。たくさんある日本人学校の中で、インドのニューデリー日本人学校に勤務することになったのは、単なる偶然ではないと思っている。必ず何か理由があるはずだと。ミッションと言ったほうがいい。必ず私に与えられ使命があるはずだと。そもそも私とインドとの結びつきは何なのか？いつからなのか？・・・。

思い起こしてみると、はるか45年前に遡る。私が小学校4年生だった1970年に、大阪万博が開催された。私は父と出かけた。目指すはアメリカ館。しかし、月の石を見たさに長蛇の列。私はあきらめて空いているブースを片っ端から見て回った。その一つにインド館があった。何を見たかは全く覚えていない。しかし、入館する前に、館の周りにあった堀の水を手ですくって美味しそうに飲んでいて、サリーを着てビンディーを身に付けた女性に目が留まった。ものすごい衝撃だった。その光景は今でも鮮明に覚えている。これが、インド（人）との最初の出会いだった。

そして、今ここにいる。不思議である。きっと45年前に出会った時からこうなるよう決まっていたのだ。これは決して偶然なんかではない。必然なのだ。そう思っている。強く強く思っている。

さて、与えられたミッションについてだが、未だにそれを見つけれずにいる。ひょっとすると日々の仕事の中にすでにあり、気づかないで遂行しているのかもしれない。あるいは、まだ出会っていないのかもしれない。いずれにしても、これだ！と認識できてはいない。しかし必ず見つけ出し、その任務をきちんと果たしたいと思っている。

その覚悟をもって毎日を過ごしている。

2015.08.02